

LC-MS/MSによる下痢性貝毒(オカダ酸群)の分析法の検討

保健科学課 藤井 優寿・宮地 夏海・常松 順子・中牟田 啓子

第53回全国衛生化学技術協議会年会

下痢性貝毒を含む貝類の取扱いについては、平成27年3月6日厚生労働省通知により、機器分析法が導入され、オカダ酸群に対して0.16mgOA当量/kgの規制値が定められた。同時に、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計を用いた分析操作例が示されたが、カキに対する妥当性は確認されていない。そこで、本市の特産品であるカキを用いた分析法の検討と妥当性評価を実施した結果、良好な結果が得られた。今回検討した分析法はカキの下痢性貝毒試験法として使用できると考えられた。